

サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量

東洋アルミグループは、日本政府が提唱する「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に賛同し、脱炭素社会への移行に向けて取り組む責任を認識しています。

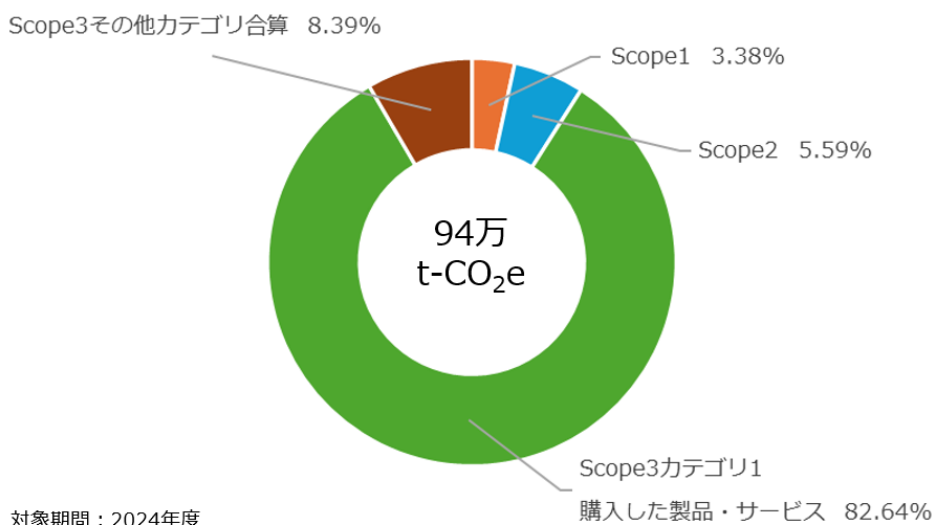
当社グループは取り組みの第一段階として、GHGプロトコルに基づくサプライチェーン全体の排出量を算出いたしました。基準年とする2024年度の総排出量は94万t-CO₂eとなりました。

今後は、自社事業における省エネルギー活動の継続に加えて、サプライチェーンにおける排出量の削減に向けた取り組みを順次進めてまいります。

また、SBTに準拠した短期目標については、算定データの精緻化とあわせて策定を進めており、整い次第、順次公表してまいります。

カーボンニュートラルの実現が非常に大きな挑戦であることを認識しつつ、政府目標への賛同のもと、着実に取り組みを進めてまいります。

サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量



※その他内訳：資本財 2.48%、Scope1,2に含まれないエネルギー等 1.89%、輸送、配送（上流）2.10%、事業から出る廃棄物 0.22%、出張 0.08%、雇用者の通勤 0.11%、リース資産（上流）0.03%、輸送、配送（下流）0.02%、販売した製品の加工0.83%、販売した製品の廃棄 0.32%、投資 0.32%

※販売した製品の使用、リース資産（下流）、フランチャイズは該当なし